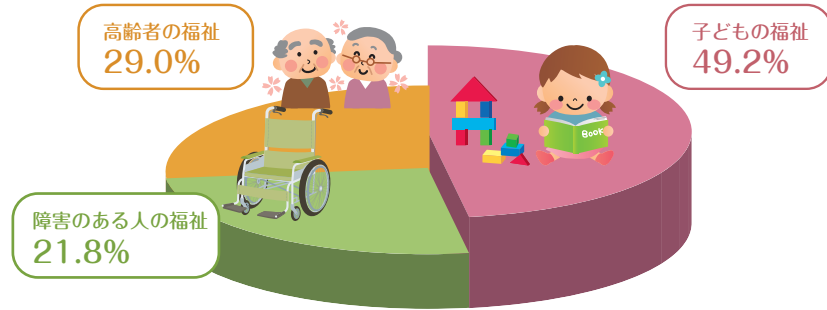


皆様からのご寄付は以下のような事業に使われました。

(2015年度社会福祉事業費用、東日本大震災救援事業を含みます)



この他 公益事業としてガイドブックやDVDの発行
福祉啓発事業なども行っています。

事業総額 1億 1260万 7千円

朝日新聞厚生文化事業団の社会福祉事業は皆様からのご寄付で実施されています。寄付者名・団体名は朝日新聞の地域面に掲載します(千円以上。匿名扱いもできます)。税法上の優遇措置があります。

ご寄付やお問い合わせ

朝日新聞厚生文化事業団の社会福祉事業は皆様からのご寄付で実施されています。寄付者名・団体名は朝日新聞の地域面に掲載します(千円以上。匿名扱いもできます)。

- 郵便振替 「寄付専用」郵便振替用紙をお使い下さい。お手元にない場合は、当事業団が払込料金を負担する振替用紙をご請求ください。または、口座番号「00130・1・9166」(加入者名=朝日新聞厚生文化事業団、通信欄に「寄付」、領収書不要の場合はそのように明記)までご送金下さい。
 - 銀行振り込みやクレジットカードによるご寄付も、事業団ホームページから手続きができます。
 - 現金受付 朝日新聞本社内の厚生文化事業団窓口(平日午前10時~午後5時30分)や朝日新聞の各総局などで受け付けています。
- ※寄付金控除 当事業団へのご寄付は個人の場合、所得控除と税額控除の二つの寄付金控除のいずれか有利な方をお選びいただけます。この優遇を受ける場合、確定申告をしていただく必要があります。相続税が非課税となる遺贈・遺言のご相談も事業団へお問い合わせください。
- 事業団ホームページから2015年度の事業報告書をダウンロードできます。より詳しい事業内容をお知りになりたい方は、そちらをご覧ください。

本部(東京)

〒104-8011 東京都中央区築地5-3-2
TEL 03(5540)7446 FAX 03(5565)1643

大阪事務所

〒530-8211 大阪府北区中之島2-3-18
TEL 06(6201)8008 FAX 06(6231)3004

西部事務所

〒803-8586 北九州市小倉北区室町1-1-1
TEL 093(563)1284 FAX 093(563)1287

名古屋事務所

〒460-8488 名古屋市中区栄1-3-3
TEL 052(221)0307 FAX 052(221)5453

朝日の社会福祉 2015

共に生きる豊かな福祉社会のために

朝日新聞厚生文化事業団は

「子ども」「障害のある人」「高齢者」を3本の柱として
社会福祉事業に取り組んでいます。



朝日の社会福祉 2015

共に生きる豊かな福祉社会のために



● 震災・災害救援事業

朝日新聞厚生文化事業団は、関東大震災の被災者救援をきっかけとして設立された団体です。災害復興支援は、いまも事業の大きな柱となっています。

■ キャンプホクレレ in HAWAII

東日本大震災で大切な人を亡くした子どもたちに寄り添うグリーン事業に取り組んでいます。その一環として16年3月、震災で親や兄弟などを亡くした小学3年生から高校3年生までの44人を引率して、ハワイで4泊5日のグリーンキャンプを実施しました。



■ 朝日のあたる家

岩手県陸前高田市に建てたコミュニティーハウス「朝日のあたる家」が16年2月に3周年を迎え、延べ利用者数は1万8千人を超えました。



■ 被災地ビジット

震災被災地の学校や老人ホームなどに、コンサートや歌やマジックなどを届ける事業を続けています。

■ 災害救援金

15年4月のネパール地震や9月に発生した北関東・東北の豪雨災害、16年2月の台湾地震で救援金を募りました。ネパール地震では2998万7740円、豪雨災害では2705万108円、台湾地震で813万2412円が集まり、全額を日本赤十字社に送り被災者の救援などに役立ててもらいました。



● 子どもの福祉

■ 高校生進学応援金

児童養護施設や里親家庭から大学や専門学校への進学を目指す高校生に応援金を贈呈しています。15年度は29人に総額約1350万円を贈りました。この事業は朝日新聞厚生文化事業団に寄せられた原田積善会などからのご寄付と山岡こども応援資金によって行っています。

■ こどもっと

児童養護施設や里親のもとで暮らしていた人たちが中心になる社会的養護の当事者グループの全国ネットワーク「こどもっと」を2010年に結成、情報交換や研修会などを行っています。



■ 朝日夏季保育大学

保育士などの教養と技術の向上を目指し、1954年から長野県諏訪市で開催している息の長い事業です。15年は現場での気になる子とのかかわり方や記録のつけ方をテーマにした講演をはじめ、マジックと音楽、絵本を使ったコンサートなどを開催しました。



■ 親子で楽しむクリスマスコンサート

あそびうたや踊りで、子どもも大人も楽しめる愉快的なステージ。15年は中川ひろたかさんとデュオグループのケロボンズが出演しました。



● 多彩なチャリティー事業

■ 朝日チャリティー美術展

全国の芸術家や著名人約2800人から寄贈された作品約3400点を販売、その収益を社会福祉事業に充てる「朝日チャリティー美術展」を名古屋、大阪、東京で開催しました。



● 高齢者の福祉

■ 認知症カフェ

静岡県南伊豆町に開設した認知症カフェ「あまなつ」が16年2月に1周年を迎えました。認知症カフェ開設講座も各地で開催しました。



■ 講演会

「これって認知症？」

軽度認知障害と診断された週刊朝日の山本朋史編集委員が、自らの治療体験を語りました。



■ 講演会

「看取り・幸せな人生の最終章とは」

滋賀県の医師花戸貴司さんと写真家の國森康弘さんが、看取りについて講演しました。



■ 講演会

「人生の最終章を自分らしく生き抜く」

作家の椎名誠さんが自分が出会った世界の様々な葬式を紹介し、生きることと死ぬことについて語りました。

■ ゆうゆうビジット

全国の高齢者施設を訪問し、コンサートやお相撲さんによるちゃんこ鍋など、憩いのひとときを届けました。



■ メサイア演奏会

東京芸術大学の協力の元、「メサイア」のチャリティーコンサートを上野の東京文化会館で、クリスマススイブに開きました。



● 障害のある人の福祉

■ 全国高校生の手話によるスピーチコンテスト

障害のある子どもたちのキャンプでのボランティア活動を、「夢をかなえるために」と題して手話で紹介した愛知県・桜花学園高校3年の佐藤梨江さんが一位に輝きました。



■ 自閉症カンファレンス NIPPON

自閉症の人たちの支援会議「自閉症カンファレンス NIPPON 2015」を早稲田大学で開催しました。



■ 聖明・

朝日盲大学生奨学金

聖明福祉協会と当事業団の主催で、視覚障害のある大学生に月3万円の奨学金を貸与しています。



■ 高次脳機能障害講演会

交通事故や病気で脳を損傷した高次脳機能障害の人たちを支援する講演会活動に取り組んでいます。15年度は生活・就労・住まいのあり方について考える講演会を東京と大阪で開催しました。

■ うつ病の講演会

精神科医の大野裕さんと漫画「ツレがうつになりました。」の作者らを招き、うつ病の本人や周囲の人にできることを考える講演会を名古屋と東京で開催しました。



■ 朝日九州車いすバスケットボール選手権大会

車いすで行うバスケットボールや、障害に応じて2種類のゴールを使う車いすツインバスケットボールの九州大会を共催しています。

■ 各種ガイドブックやDVDの販売

高次脳機能障害や認知症、うつに関する書籍や自閉症の人たちを支援するDVDなどを作成、販売しています。

